



園部共同作業所だより

園部共同作業所発行

〒622 京都府船井郡園部町上木崎

No 29

32 0771(62)3249

我がが店

共同作業所や授産施設で、コッポツ作られた製品が、展示・販売される常設店「ハートプラザ・KYOTO」が、新JR京都駅九階にオ！ブンしました。我がが「手作り品の品」を陳列してくれる。念願の店が、出来たぞ！作業所の皆は挙げて京都駅の店へ出かけました。「きれいな売場やー」「まるでデパートやな！」「カッコイイー」喜びと驚き、感嘆の声があちこちから聞こえてきます。チョットチョットこれ見て、Nさんが創ったもんやー。ここに置いてあるのはT君が仕上げたもんやー。友人たちは目敏く発見します。だが、作者の当の本人は、照れくさくて、恥ずかしそうにしています。自分の作品を手取るどころか、置いてある棚の正面にも立てず、体を斜めにしてみたらチラと横目で見ています。しかしその顔は本当に嬉しさがいっぱい、今にも笑い出しそう、グツトこらえているのです。そして、俺はやったぞ！、これからも頑張るぞ！、彼の作品を創るぞ！、彼のそんな心の内が伝わってきます。お金とスピード、

経済大国日本で「ゆっくり、あせらず」なんて言ったら、利潤、効率追求の現実には、倒され置いて行かれます。そんな中で、じっくりと、時間をかけ、仕事を覚えよ！物を作り、自信をつけていく、それまで待って！くれる「ハートプラザ・KYOTO」は、多くの障害を持った人の安心の場所、このころのオアシスです。今後この店のますますの繁盛と授産振興センターの発展を願っております。

所長 杉山俊夫



期待する精神科救急体制づくりについて

丹波町保健婦 山田由美子

ここを病む人たちの精神障害と定義されるならば、現代社会は、多くの人達がここを病んでいると言われている。では、病的なのはどうか、治療を必要とするのか、どう判断したらよいのか、苦しむ悩んでいる事が多いと思われまます。保健婦が相談を受ける時は、本人・家族ともどもにもならなくなり相談に来られ対応に苦慮する事が多いのが現状です。相談は緊急性が強く、病院が夜間や休みにかけての相談で緊急医療体制が出来ていたらといつも思っています。

平成七年七月に精神保健福祉法が施行された法的裏付けもなされ精神科救急医療体制づくりについても整えることが急務となつていますが、現状はまだまだです。船井郡内でも残念ながら、南丹病院に外来は出来ましたが入院は出来ません。日々の相談事の中でも思っているのが、夜間・休日の応急相談や入院が出来る救急医療体制が早急に出来るよう願わずにはおれません。平成九年十月の家

族会の方々の要望書にもあげられていましたが、一保健婦としても微力ながら働きかけていきたいと思っております。



寄贈品

(八月一日)

和知町社協 コーヒー

的場利三郎 セット

中野完弥 菓子

西川登 菓子

城島幹夫 菓子

中川裕子 コーヒー

増尾一志 セット

菓子

菓子

菓子

菓子



行事・レクレレボ

七月三十日 海水浴(由良海岸)十一名参加

八月二十日 保健所にて体力測定 九名参加

九月十日 保健所にて歯科検診

二十日 スポーツの祭典 七名参加

丹波自然運動公園にて障害者ふれあい広場のスポーツレクレレボにフェスティバルに参加

十月一日 入浴指導 観音湯にて 四名参加

四月 とうておきの芸術祭(岡崎勸業館)ハートプラザ京都(京都駅伊勢丹)見学 六名参加

七日 ソフトボール試合(桜ヶ丘ママさんチームと対戦)保津川グラウンドにて

十六日 日帰り旅行 琵琶湖博物館 十八名参加

二十二日 木下大サーカス見学(梅小路にて)十四名参加

猛獣ショウや空中ブランコに感動し、ピエロたちの仕草に笑いました。

こころの健康推進
員養成講座に参加
して

今年例年になく暖かい秋です。でも自然は間違った春が来ます。そしてまた暖かい春が来ます。こうして人間がコントロール出来ない自然のサイクルがあるのです。人生も人間も頑張ればがんばってばかりの毎日ではなく、自然に任せて、自然の力を利用して楽しい人生を送りたい。私はそういう人生が好きです。そういう自然体で暮らしております。ちょうど一年前「こころの健康推進講座」を受講させていただく機会を与えられ今年九月九日に無事修了する事が出来ました。研修の内容はかなり高いレベルのものでした。一年間一講座も欠席することなく受けられたことに對し、とても感謝しています。

この広い宇宙にはたくさんの生物が生きています。みんな共栄共存をして行かなくてはなりません。それぞれの持つ価値観の相違、さまざまな感受性によって生きています。自然な気持ちですべてを受け入れる心が大切だと思います。足りる人は足

らないに、強い人は弱い人、その心を分かち合っていてこそ素直にすべての人間がすべての人間を理解することが出来ると思えます。

日進月歩で変わる環境は「本当にやさしい心」を持った人間には上手に対応できないことがあると思います。その時何らかの心の支えがあったらと思います。私はその時ほんの少しでも理解が出来てそばにいてあげられたいと思っております。

研修の中やその後の保健所の行事に参加させてもらい、つくづく思いましました。行政を上手に利用し精神障害で悩む人や家族が少しでも楽しい毎日が過ごせるよう私も微力ですが、自分の出来ることから手伝わせていただきます。

西田かつえ



琵琶湖日帰り旅行
について

園部共同作業所へ通所しているメンバー20名ほどが、亀岡からレンタカーを借りて、去る10月16日の早朝八時半に園部大橋の国鉄バス停を出発して、目指す滋賀県へと行きました。途中で一回ほどトイレ休憩をして、一時間半ほどで一〇時半頃に、滋賀県の琵琶湖に着き、十一時過ぎの出発小型船に一時乗りました。琵琶湖博物館を見学しました。大昔の琵琶湖周辺で、生活する人々の様子が記録され、木造船などが展示されていまし、琵琶湖のひろく、魚、鯉や鮒などもいて、集合時間があり、ゆっくり見ると二時頃、夕食を、三時半頃に園部へ帰りました。雲一つ無い絶好の旅行日であり、快晴に恵まれた。琵琶湖の琵琶湖とは、楽器の琵琶に似ているから琵琶湖と名付けられたのです。琵琶湖は物知りでしょう。琵琶湖は五本ぐらいの川が流れ入って、長い年月、五百年位の時を得てあれだけ大量の水が、貯えられたのでしょう。山と山と

が広がってのびのび、心気持ちがおおらかになり一等地という感じもしました。一ヶ月くらい保養したいです。丹波へ帰るのが嫌になりました。琵琶湖周辺は冬あまり雪が積もらないかも知れません。年頃を過ぎているのに、出会ったヤングのきれいな女の人の姿が、ハートをとらえてはなしません。新しく買ったカメラを持って、琵琶湖を撮ったので、記念になり残るのでよかったです。また行きたいです。

クッキー販売に
ご協力ください



冬期ボーナス支給のため 今年も好評の通所授産施設 マルブリーのクッキーを販売いたします

1箱にバニラ、ココア、くるみの三色詰め
サイズ 1000円です

園部共同作業所

TEL. 0771-62-3249
FAX. 0771-63-2941

編集後記

来年の干支の置物の袋詰め梱包作業がドッサリ大最入荷。これは日頃やっている通常作業に、プラスαです。大変。そのうえレクレーション行事、職員研修、自主製品販売バザーなど、超忙しの毎日です。